



筑波大学

University of Tsukuba

人間総合科学学術院 人間総合科学研究群

スポーツウエルネス学学位プログラム博士前期課程

課程修了の手引き

(令和2年4月4日：論文審査委員会)

1. 課程修了とは

大学院の修了とは、標準修業年限以上在学し、所定の30単位以上を取得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、論文審査及び最終試験に合格し、学位が授与されることをいいます。

本学東京キャンパスの大学院博士前期課程を修了するには標準2年以上在学し、部局細則に規定する履修方法に従い30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受け論文等審査及び最終試験に合格することが必要です。

ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については1年以上在学すれば足りるものとなっています。(大学院便覧記載事項)

2. 必要な研究指導とは

専門科目（必修）のスポーツ健康研究方法論Ⅰ、専門科目（選択）のスポーツ健康研究方法論Ⅱ（9月末修了者はⅢ）、及び研究領域ごとの専門科目（選択）研究方法論Ⅳ（9月末修了者はⅤ）の授業を基本とし、研究指導担当教員により、個別の研究計画に応じた指導がなされます。これら指導の一環として、学位プログラム主催の中間発表会及び学位論文発表会が必須の内容として位置づけられており、全員の参加が義務付けられています。

当学位プログラムでは、学位プログラム設置の主旨と理念に則した研究活動を推奨しており、スポーツとヘルスの融合を図る観点から、研究指導の面においても両分野の教員が相互に助言できる体制をとっています。

3. 課程修了までの流れと手続き

別紙関係日程一覧に示された内容と手続を、年度ごとに指示される日程を**厳守**して遂行する必要があります。なお基本的には、各学期末に課程修了ができることになっています。

4. 学位論文とは

大学院は学術院という組織によって運営されています。文字通り研究を旨とする組織であり、教育を旨とする学部・学群とは性格・機能を異にしています。

研究とは、論理的思考と科学的技法をもって課題を解決する営みです。そして、その成果を論文という形で発表します。その論文の形として、当学位プログラムでは修士論文と特定課題研究報告書の二つの学位論文としての形を位置づけています。そして課程修了の称号として修士（スポーツウエルネス学）を取得することが出来ます。

この特定課題研究報告は、高度職業人育成を目指す当学位プログラム前身のスポーツ健康システム・マネジメント専攻のオリジナリティーを示す一つの形として設けられました。

<修士論文>

スポーツまたは健康に関するテーマに則した調査、実験結果の統計学的、科学的検討が行われていること、あるいは文献検討を通した論理的妥当性と内容妥当性、ならびに理論的創造性があること。

- 1) 研究目的の設定
- 2) 先行研究の検討と本研究の課題と方法
- 3) 結果と考察、あるいは研究の内容
- 4) 結論および今後の課題

<特定課題研究報告書>

スポーツまたは健康に関する特定の課題について、実践的技法を用いて課題解決や目標達成に取組み、その経緯と成果について妥当な考察がなされ、実証的創造性が認められること。

- 1) 研究課題の設定とねらい
- 2) 課題解決へのプロジェクト計画
- 3) プロジェクトの展開と評価
- 4) プロジェクトの成果と考察